



山形県となるまで		やまがたけん 山形県は、明治になるまで、米沢藩、庄内藩、新庄藩、山形藩などの大小の藩や天領があり、大名や代官が治めていました。明治維新により、日本は封建社会から近代社会への道を歩み、明治4年（1871年）に藩をなくして県を置く「廃藩置県」により、次第に県に統合していき、明治9年（1876年）に現在の山形県が誕生しました。									
		やまがたけん 山形・鶴岡・置賜の3県を合併、山形県とする。初代県令（県知事）三島通庸									
		めいじ 明治									
		たいしょう 大正									
昭和		しょうわ 昭和									
		しょう 昭									
		わ 和									
		へいせい 平成									
令和		れい 令									
		わ 和									
		めい 明									
		たいしょう 大正									